



第 6 号

76 期の



— 内容 —

- 学年主任より
- 2 学期期末考査講評
- 冬休みの課題・連絡
- コラム ～私が今、伝えたいこと～
- 冬休み明けの予定



学年主任より

76 期の皆さんは、日々いろんな経験を重ね着実に成長していると思います。前回の学年通信発行から今日までの間に、学校行事では遠足、モザイクアートコンテスト、クラスマッチがあり、普段の高校生活の中ではみることができない皆さんの側面をみることができました。延期に延期を重ねてようやく実施できた遠足は、天候にも恵まれてリフレッシュできた遠足だったのではないのでしょうか。皆さんすごくいい笑顔で、爽やかな遠足だったなという印象を与えてくれました。合唱コンクールの代替のモザイクアートコンテストは、代議員の生徒と HR 委員の生徒たちが中心になって運営してくれました。限られた時間の中で試行錯誤しながら協力していたように思います。クラスマッチは冬の中休みのような温かい気候の中、クラスみんなで応援しあい、クラスの WA が広がったのではないのでしょうか。皆さんの元気な姿を見ることができて微笑ましかったです。

11 月に行われた SSH 講演会では僕の仲間がかけつけてくれました。WA と WA が繋がった感覚です。その講演会の話の中に「マルチタスク」の話がありました。企業はどんな人物を必要としているか。高学歴の人は何がすごいのか。『マルチタスクを正確に行うスキル』という話を覚えていますか。「大学入学共通テスト」の勉強は『マルチタスクを正確に行うスキル』を身に着ける将来に向けての良いトレーニングであるとお話していただきましたね。僕も確かにそうだなと新たな学びがありました。

仲間と全力で楽しむこと、うまくいかないときにどうしたらうまくいくのかを考えること、仲間を鼓舞しあいチームの喜び悲しみを共有すること、すべての経験が将来の自分を作ります。そこにはさまざまな WA が絡み合っていくことだと思います。

これからも、いろんな WA が 76 期のみんなを待っています。

『76 期の WA』は、WA と WA が繋がってインフィニティ∞に広がっていきます！

(76 期学年主任 伊藤)



2 学期期末考查講評

現代文

①漢字について

大問5の誤っている漢字を見つけ、正しい漢字に書き換える問題で、誤っている漢字がある問題にも関わらず、〇とした人は要注意です。(誤っている漢字があることがわかっていて、正しい漢字がわからないから〇した人も同じです。

「国語」における漢字は、書ける、読めるだけを求めているわけではありません。その漢字の意味を理解し、日常の中で活用できることを求めています。見て覚える、書いて覚えるだけの作業になってしまっている人は、学習方法を考え直しましょう。

②初見問題について

今回は、評論でも小説でもなく、随筆というジャンルの文章を出題しました。随筆とは、見聞きしたことに対する感想などを気の向くままに、漫然と書いたもののことをいいます。そのため、評論文とは違い、言いたいことが1つの方向に収束していくわけではありません。また、筆者の言いたいことが、比喩的に表現されているなど小説に近い表現も多分に含まれています。その分少しとっつきにくかったかもしれません。ただ、評論や小説と変わらず、筆者が「何」に着目して、「どんなこと」を考え、「どのように」表現しているのかを丁寧に抑えることが肝要です。そして、問題を解く際は、出題者の「問い」に正しく応対することが必要です。

最後に、問二『聖俗に二股かけた』とはどういうことか。」の問題で気になったことを。

「～どういうことか。」の問題に答える際は、必ず、自分の置き換えた言葉を本文にそのまま当てはめた際に、意味が通じるかをチェックしてください。

解答の中に、「聖界エリアと俗界エリアの上と下を仲介した」というニュアンスの答えが少なからずありました。これをそのまま本文に当てはめると、「聖界エリアと俗界エリアの上と下を仲介した衆徒たちが、上と下とを仲介していた。」となります。

意味不明です。

時間に余裕がない中、問題を解いたことによる部分もあるとは思いますが、解答の組み立て方を意識してください。「みるみる」の解説などをよく読んで、お作法を学んでいきましょう。

古典

大問1 『伊勢物語』「芥川」

大問2 文法問題（助動詞）

大問3 漢文必携チェックノート

大問4 漢詩

大問5 初見問題

からの出題でした。

大問1と大問4は比較的良好にできていましたが、大問2と大問3の正答率が低かったです。

それぞれ助動詞と漢文句形の基礎問題です。

今後の授業では、文法は助動詞の復習をしつつ、格助詞・接続助詞にも入っていきます。

今回助動詞があまりできていなかった人は、冬休みの間に復習をしっかりとっておきましょう。

現代社会

記述問題について解説します。

【2】問5 政教分離の原則が日本国憲法で採用されている歴史的背景を、次の語句（戦前 事実上の国教 軍国主義 精神的支柱）をすべて用いて説明せよ。

<解答のポイント>

- ・教科書 p.120 の7～10行目の内容が書けていれば正解です。
- ・戦前、事実上の国の宗教（臣民の義務として神社参拝を義務付けたというのが建前）として扱われたのが神社神道です。神道には、（倫理や日本史で勉強しますが、）伊勢神道、唯一神道、垂加神道、復古神道、教派神道などいろいろな種類があります。

【6】問2 1960年に締結された日米新安保条約の第5条は、旧安保条約から大幅に修正されているが、旧安保条約ではどのような内容であったかについて、「防衛する義務」という語句を用いて説明せよ。

<解答のポイント>

- ・主語（アメリカ）と目的語（日本）をはっきりさせる。
- ・旧安保条約では、アメリカが日本を防衛する義務が不明確であったから、日本はただ単にアメリカに基地用地を提供していただけであった。その不平等な状況をやや改善するために、日本国の領域において日本が武力攻撃を受けたときは、アメリカが日本を防衛する義務を明記したのが日米新安保条約である。なお、日本がアメリカを防衛すると「集団的自衛権」を発動することになるが、戦後の内閣は一貫して日本は集団的自衛権を有しないという立場を明確にしていたため、2014年までは日本がアメリカを防衛することは不可能であった。しかし2014年に安倍内閣が憲法解釈を変更した閣議決定（および、2015年の武力攻撃事態法の改正）によって、3要件を満たしている場合において集団的自衛権の行使が限定的に容認された。

数 I

今回の考査の感想としては、「問題を最後まで読んで解きましたか」と疑いたくなるような答案が多いと感じました。また、覚えるべきことを覚えていない答案も多かったと思います。以下、それぞれの問題について書いていきます。

- ① (1)角は鈍角です。三角比の問題は角の範囲に気を付けて解きましょう。
(3)(4)今後も出てくる内容です。
(7)どの辺が等しい二等辺三角形かを書いてください。
(8)辺の比が 7:5:3 であって角の比ではありません。
- ② 三角比の値の増減について理解していれば解けます。今後もこのような問題に会うと思います。
- ③ 答えを絞り込むための条件の確認を間違えないようにしてください。
- ④ ID は内接円の半径ではありません。思い込みで解かないように。半径であるならそのことを示してから解く必要があります。
- ⑤ 週末課題でも見たことのある問題だと思います。今回の問題は具体的に角度が分かる問題になっていました。そこに気づくと解きやすかったかと思います。
- ⑥ 図をイメージできれば解けたかと思います。このようなことは今後も必要になります。
- ⑦ 問題をよく確認して解いてください。文字で表す問題は今後も出てくるとはいますが、三角比を理解していれば今回の問題は解けます。

細かい点で抜けている答案がまだまだ多いです。意識することによって見えてくるとは思います。答案づくりを意識して書いていきましょう。

数 A

学年平均は56点でした。

- ① 多少複雑でも最後まで解き切る計算力が欲しいです。半分は教科書レベルの問題でした。
- ② 教科書に載っている内容です。問題を解くテクニックを身に付けるだけではなく、普段から教科書に書いてあることを読み込み、本質を理解することが大切です。
- ③ 解の候補を絞り込む際の論理展開で不備があるものは、最終の答えが合っていたとしても得点を与えていません。自分の頭の中では分かっている、それを誰が読んでも理解できるように記述しなければいけません。
- ④ 教科書レベルの基本問題で、正答率は高かったです。間違えている人のほとんどが方程式を満たす解(特殊解)がそもそも間違えていました。見直しをすれば正答できる問題なので、もったいないです。

- ⑤ 1 次不定方程式を解く難易度が少し高いですが、それ以外の方針は思いついてほしい内容です。
- ⑥ 4の倍数でないことを示すのだから、 $4 \times (\text{整数}) + (3 \text{ 以下の余り})$ の形を作ればいいだけです。この証明に苦労しているようでは練習不足です。合同式を用いる証明方法もあります。
- ⑦ 週末課題と同じ問題です。厳密な議論ができていない答案は減点しています。答えを写して課題を提出しただけの人は、得点に結びつかなかったでしょう。
- ⑧ 説明の仕方が難しいとは思いますが、計算の方法だけを覚えるのではなく、なぜそうなるのかを自分自身で考えられるようになりましょう。

(谷口)

理数物理

学年の平均点は 44.3 点でした。今回も有効数字ミスの減点と波のグラフの正答率が予想以上によくありませんでした。大問 1、3、5 で間違えた人は危機感を持って復習してください。

大問 2、4 は力学的エネルギー保存の法則の問題ですが、今回出題したものはプリントや教科書に掲載されている問題の類題でした。しっかりと授業の復習をして理解するところまでできた人と、「わからない」をそのままにした人とで差が出た問題だったと思います。「納得するまで論理的に考える」ことは物理だけでなく、ほかの教科学習や研究をするうえで、共通して最も大事なことです。今一度、自分自身を振り返ってみてください。

大問 6 はエネルギーの発展的な問題。答えに文字が多い問題もこの先たくさん出てくるので、特に 2 年生で物理を履修する人は (4) までは復習しておいてください。

理数物理のテストも残すところ、あと 1 回。巻き返しのラストチャンスです。皆さんは部活動やほかの教科学習など、毎日やることがたくさんあって忙しいとは思いますが。先生自身も、高校生のころは陸上競技部で時間に追われていました。その限られた時間の中で、寝る前の 30 分だけでもその日の振り返りの時間を確保していました。2 年生になる前にその学習習慣をつけてみてはいかがでしょうか。世界が変わると思います。

今からでも遅くないです。最後まであきらめずに一緒に頑張りましょう！

理数化学

酸化数の求め方、半反応式の作り方など、授業で扱った基本的な内容をしっかり練習してきてさえいれば、かなりの点数が取れる出題内容でした。実際、残念ながら中間テストの成績が振るわず、全問合格するまで居残りのサポート講習の対象になってしまった人たちは、ほとんどが平均点近くの点数をとれています。いっぽうで、そうした基本的な積み重ねのあとが全く見られない答案があまりにも多い。やらないといけない、と取り組めば、できる能力が皆さんにはあるのでしょう。ですが、サポート講習に呼ばれなければそのスイッチが入らない、というのは残念です。

もう一点。化学に限った話ではないですが、テストが始まる前の皆さんの様子を見てみると、問題集やその答えの冊子を開いている人が結構多いです。せっかく問題集を解いたのなら、自分がどこで間違えたのか、どんな勘違いをしていたのか、それをどう修正したのか、みんなノートに書いてあるはず。そんな積み重ねが詰まったノートを見たほうが、テスト前の短時間での振り返りには有効だと思いませんか？ …問題集を解いたノートがそうした状態にない人は、その取り組み方から見直されることをお勧めします。

(高野)

理数生物

考査の平均点は60点でした。Ⅰでは簡単な実験問題が予想外にできていなかったです。いろいろなことを結び付けて知識を獲得してください。Deep learning（深い学び）です。ⅡとⅢのホルモンとそのはたらきに関する問題は、解けている人が多かったように思います。Ⅲ問2は、ある2つの対象について記述が求められている問題でした（今回はⅠ型糖尿病患者とⅡ型糖尿病患者について）。このような問ではそれぞれどちらの説明なのか分かるように書いてください。単に「インスリンの分泌量が多いか少ないか」といった書き方では正確には伝わりません。Ⅴ問10は非常に正答率が低かったです。今まで聞いたことのないタイプの計算問題と感じた人も多かったかもしれませんが、文章中の情報と授業で習った内容で十分解ける問題です。間違えた人はやり直しをして、知識だけではなく「考え方」のストックを増やしていきましょう。

英語 C

テスト前にした事にチェックを入れよう

- きちんとシスタンの勉強をして、テストに備えた
- Worksheet A の問題を復習して、テストに備えた
- 授業中に取ったノート・メモを見直して、テストに備えた
- Worksheet A の Cloze Reading をして、テストに備えた
- Worksheet B や English Central・CD を使って音読をして、テストに備えた
- Pro-Vision のワークを解いて、テストに備えた

上の口にチェックが何個、入らなかったですか？ 1 つでもチェックが入らなかった人、もう4回目の定期テストですよ？

勉強しなさい！

勉強しないことには、今まで学年通信で伝えてきた身につけてほしい力は身につけません！

- | |
|---|
| ①「確かな語彙力」
②「構造・文脈を意識して和訳する力」
③「速読を通して、大意を把握し、必要な情報を見つける力」 |
|---|

その日々の取り組み不足が、模試の結果にも表れたのではないのでしょうか。今一度、日々の予習・復習、授業への参加度、小テスト・定期考査に向けた勉強、その他自主的な学習の仕方など、自身の取り組みを振り返りましょう。みなさんの英語の力は、それぞれの取り組み方ひとつで大きく変わります。次回の試験では、一回り成長した皆さんの答案を見られることを楽しみにしています。

以下、大問ごとの解説・コメント

- ③ ワークからの出題。(2)deal、(3)admire は本文中に出てきている！
- ⑤ ワークからの出題。(3)「景勝地」 a beauty spot に対する解答で、ワークに取り組んだかどうかが一目でわかりました。
- ⑥ (3)which is known の which を間違えた人は、しっかり英語 G の教科書で関係詞の「非制限用法」を復習しておくように。
- ⑧ 広い目で文章を見てほしいという思いから作った問題

1～3 文目は、

…we realize the importance of light when we see darkness. (A)

We realize the importance of our ①(v) when we are silenced. (B)

…we realized the importance of ②pens and books when we saw the guns. (C)

となっており、「the importance of」の後ろと「when we+動詞」の後ろが逆の意味になっている。⇒①は voice(s)

また、2 段落目の 3 文目、5 文目は、

The power of education frightens them. (D)

The power of the voice of women frightens them. (E)

となっており、(B)の our ①(voice) = (E)の the voice of women、

(C)の②pens and books ⇔ (D)の education という関係が見られる。

英語 C の続き

- 10 (3)(4)は大学入学共通テストの第5問を参考に作った問題。
(実際の問題が気になる人は、「大学入学共通テスト 英語 問題」などで検索してみてください)
2年生の課題研究などでスライドを作ることになりませんが、作り手側の視点を身につけると、読解に生きてきます。
- 12 最初の段落と最後の段落はワークに載っていなかった。半ワーク問題、半実力問題
(1)これも広い目で文章を見てほしいという思いから作った問題。
2段落目の内容と3段落目の内容を正しく把握できれば解けたはず。
(2)本文 “Scientists are like detectives” ← [前置詞]「~のような」
選択肢ア. “Some scientists like detectives…” ← [動詞]「~が好きである」
- 14 Worksheet から出題したので、正解して当然の問題。構造（語と語の関係）をきちんと把握し訳す！
(1)について
- educating girls には V と O の関係がある。無意味にその関係を崩した訳をしないように
× 「女性が教育を受けること」、「女性の教育」、「女性教育」
 - consider OC の O と C には「主述関係」が見られる。こちらも無意味にその関係を崩した訳をしないように
× 「男の子を教育することは、女の子を教育することより大切である」
- (2)について
- Each of~ → 「~のそれぞれ」。Each は代名詞。× 「それぞれの~」
 - snow crystals → those sculptures の同格。Each of those sculptures のではない。
 - work → 「作品」。a が付いているところから可算名詞だと気づく
 - no bigger than~ → 「たった~」。× 「~より大きい」「~より小さい」

英語 G

<今回の問題構成> 大問1 : Listening (20 点)
大問2~8 : 筆記 (80 点)

<学年平均> 54.8 点

大問1 Listening の Part 1 と Part 3 に関しては、大学共通テストレベルの実力問題で、やや難しかった(スクリプトをよく読み直し、知らなかった語彙や表現は復習しておくこと)。ただ、Part 2 に関しては” Focus on Listening ” の範囲からの Dictation である。前回の中間テストでこの部分ができなくて反省した人がどれだけその反省を活かしたであろうか。また、いくら準備をしても、空欄を耳だけを頼りに全問正解するのは至難の技である。耳ではざっくり聞き取って、あとは意味と文法知識を考えて穴を埋めることがポイントである。

大問2~8においては、今回実力と言えるのは大問7(2)のみ。しかもこちら参考書の例文からの出題だった。つまり、その他の問題全てが教科書 Breakthrough とワークからの出題である。特に大問3(24 点分)は教科書の例文からの基本事項の穴埋め問題である。「日頃の例文テストを侮らずに頑張っていますか?地道な努力は裏切らない!」というメッセージを込めて出題した。

今回、上記のように基本的な問題であったこととワークの提出を再び必須にしたこととの効果であろうか、前回の学年平均よりは回復した。しかしながら、テストの難易度から見ての結果と、76 期のみなさんの英語における自学の量の少なさを考えると、危機感を覚えている。この冬休み、是非是非復習してもらいたい。その際に最も有効なのは、**ワークブックを最初からやり直す**こと。特に2 学期中間の出来が悪かった不定詞、動名詞、分詞、関係詞、比較、そして現在学習中の仮定法 (全 L14~32) は必ずやり直してもらいたい。実力テストに向けて、そして2 年生に進級する前に大切なものは基礎固めである。危機感を持って復習に励んでもらいたい。

以下、大問7のポイントだけ、解説でも説明したと思うが、再度載せて置くので確認しておくこと。

7 英語を日本語にきなさい。

(1) The willingness to study is no less important than natural ability in learning a foreign language.

- in~ing: 「~する際」, 他に on~ing : 「~するとすぐ」, by~ing : 「することによって」などの熟語も合わせて覚えておくこと。
- willingness: ~ness は単語を名詞化する接尾語。このような接頭語・接尾語による単語の意味の推測にも慣れよう。willing は、be willing to~の熟語でよく出てくるが、「~するのを厭わない、進んで~する」という意味の形容詞。よってこの文の主語は、「進んで勉強しようとする気持ち/向上心」。あとは、A...no less B than C...D の構文。

(2) He has a collection of used books, some of which are out of print now.

- ~, which(関係詞の非制限用法)は、基本前から訳す。今回はそこに some of がついて、「~、そのいくつかは」と前の used books の説明を後に加えていく文となる。
- out of~は色々な場面で使われる頻出熟語。一度辞書で使われ方を確認しよう。



冬休みの課題・連絡

ここに掲載している教科以外にも、日々の宿題等で課題が出されているはず。日々の学習も含め、崖高手帳を活用して、計画的に学習を進められるようにしましょう。

現代文・古典

国語科冬休みの宿題 3種類です。

① 「みるみる実力アップ 現代文2」**19** **20** **21** の3題

【古典】

② 「体系古典文法学習ノート」23・24 (p46~49) と38・39 (p76~p79)

③ 「漢文必携チェックノート」19・20 (p38~p41)

すべて、丸付け、やり直しまで完了すること。

上記の宿題は、1月7日(金) 始業式・実力考査の日に、クラスごとに集めて、出席番号順に並べ、国語科職員室まで提出にくること。

数Ⅰ・数A

青チャートの練習問題またはエクササイズの問題を、合計レベルが
数学Ⅰで25以上、数学Aで25以上 合計50以上になるようにノートに解く。
詳細は配布済みの案内文にて。

理数化学

- ・2学期期末考査やり直し
 - ・エクセル化学基礎(問題集) 標準例題41、標準問題170~172
- 以上について、提出用ノートにてその成果を示せ。提出は学年末考査時とする。

理数生物

<お知らせ>

生物講義室の斜め向かいにある掲示板前に「someone」という冊子を置いています。中高生のための研究キャリア・サイエンス入門の冊子です。興味のある人は自由に持って行って構いません。ぜひ読んでみてください。

美術

・背景スケッチ・・・クロッキー帳、鉛筆を使用

「3学期課題・ボールペン画」の背景を決定し、スケッチを準備しておく。

☆クロッキー帳・鉛筆は3学期最初の授業に持ってくること。

英語 C・G

No	内容	範囲	備考
1	システム英単語	p.76 ~ 85	全ての内容を範囲とする。
2	PRO-VISION (Reading 2)	教科書 p.150 - 155 ワーク p.85 - 87	取り組み方 ①本文を止まらずに読む。 ②わからない点を調べる。 ③ワークブックの問題を解く 和訳 後日クラスルーム内にて提示します。

英語 C・G の宿題は次のページに続く

英語 C・G の続き

No	内容	範囲	備考
3	Breakthrough (Additional 1 -5)	テキスト p.100 - 109 ワーク p.74 - 83 参考書 p.400 - 411 p.415 - 417 p.424 - 442 p.444 - 451 p.461 - 468 p.475 - 479 p.490 - 505	取り組み方 テキスト・参考書の説明を読み、 テキスト・ワークブック・参考書 の問題に取り組む。
4	My favorite book	プリント	取り組み方 冬休み中に、朝読で読んだ本を 中心に好きな本の紹介（あらす じ・好きな理由など。）を書く。 後日授業内で発表を行う。用紙 は英語 G 授業内で配布する。

* 1～3：一部の内容を実力考査に出題します。

* 4：実力考査当日に提出。



コラム ～私が今、伝えたいこと～

普段授業などでは言っていないが、生徒たちに今、伝えたいメッセージ（叱咤激励、アドバイス、感想、連絡）がないか、学年団の先生方に伺いました。

以下、回答があった先生方の分を載せています。

宮崎先生

人のために何をしてやるべきか、そのために自分に何ができるかを、常に考えること。

三好先生

英語×n 進法

『不思議の国のアリス』（ルイス・キャロル著）

ウサギ穴に飛び込んだアリスには、不思議な事が起こってばかり。自分が本当に自分なのか分からなくなったアリスは次のようなことを言います。

I'll try if I know all the things I used to know. Let me see: four times five is twelve, and four times six is thirteen, and four times seven is—oh dear! I shall never get to twenty at that rate! (私が前に覚えていたことを今も知っているかどうか、試してみようかしら。ええと、 $4 \times 5 = 12$ 、 $4 \times 6 = 13$ 、 $4 \times 7 = \dots$ あら、あら！これじゃいつまでたっても、20にならないわ！)

ははは、アリスは計算が下手なようです。

4×5 は 20、 4×6 は 24 に決まっていますよね(笑) ただし、それは『10 進法』の話です。

$$\begin{array}{l} 4 \times 5 = 20(10 \text{ 進法}) = 12(18 \text{ 進法}) \\ 4 \times 6 = 24(10 \text{ 進法}) = 13(21 \text{ 進法}) \end{array} \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \curvearrowright \end{array} +3 \text{ 進法}$$

このまま $4 \times \bullet = \blacklozenge(10 \text{ 進法}) = \blacktriangle(\blacksquare \text{ 進法})$ の、 \bullet を 1 ずつ、 \blacksquare を 3 ずつ、ずらしていけば、いつか \blacktriangle に「20」が来そうなものですが……

$$4 \times 7 = 28(10 \text{ 進法}) = 14(24 \text{ 進法})$$

$$4 \times 8 = 32(10 \text{ 進法}) = 15(27 \text{ 進法})$$

$$4 \times 9 = 36(10 \text{ 進法}) = 16(30 \text{ 進法})$$

$$4 \times 10 = 40(10 \text{ 進法}) = 17(33 \text{ 進法})$$

$$4 \times 11 = 44(10 \text{ 進法}) = 18(36 \text{ 進法})$$

$$4 \times 12 = 48(10 \text{ 進法}) = 19(39 \text{ 進法})$$

$$4 \times 13 = 52(10 \text{ 進法}) = \boxed{?}(42 \text{ 進法})$$

$\boxed{?}$ に入るのは 20 でしょうか？ いえ、違いますよね。

$$4 \times 13 = 52(10 \text{ 進法}) = 1\textcircled{10}(42 \text{ 進法}) \leftarrow 42 \text{ の位が } 1、1 \text{ の位が } \textcircled{10}$$

このように「20」にはなりません。アリスが言ってることは少しも間違っていない。

偉そうに説明していますが、↑の内容は僕自身が気づいたわけではありません(笑) 「浜村渚の計算ノート 2 さつめ—ふしぎの国の期末テスト—」(青柳碧人、講談社文庫、2012 年) という小説に書かれていました。

塾で働いていた作者が、中学生に「数学なんか勉強して、一体なんの意味がある?」と尋ねられて答えに困り、それなら自分なりの答えを見つけてみようとして執筆した「浜村渚の計算ノート」。既刊 11 巻、累計発行部数 110 万部(2019 年現在)の人気シリーズです！興味がわいた人は、三好まで！貸します。

鈴木（研）先生

「私が今、伝えたいこと」と、強く言うほどではないけれど、せっかくなんで。

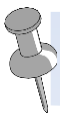
情報科の鈴木です。演劇部の顧問をしていることもあり、3年ほど前から「戯曲（演劇の脚本・台本）」を書いたりしています。

コロナ禍による、ここ2年のドタバタを、演劇部の部員や部員以外のたくさんの生徒に協力してもらいながら、「戯曲」という形で自分なりにまとめてみました。伝えたいことは実はあんまりないんですけど、表現することで今の状況や自分の気持ちを整理することはできていると思っています。

（すごーく）暇な時にでもご覧いただけたら幸いです。読んでくれた人は是非、感想等をフォームから送ってください。ではでは。

「戯曲 ダウンロード&アンケート フォーム」

<https://forms.gle/o7NvhDPDMZwdv64w8>



冬休み明けの予定

1月の行事予定を載せておきます。授業の時間割に関しては、教室掲示されている曜日変更のプリントを確認しておくこと。

- 1/ 7（金） 始業式、実力考査
- 13（木） （放課後）個人写真撮影
- 15（土） ベネッセ総合学力テスト ※詳細は進路通信第6号
- 22（土） 駿台全国模試（ハイレベル模試） ※詳細は進路通信第6号
- 29（土） 文理課題研究発表会